

①事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業		②連絡先	TEL	(0895)45-1111			
				Mail	-			
③市町村名	連携主体(愛媛県鬼北町及び松野町)		④事業主体	代表 鬼北町				
⑤所管部署	鬼北町総務財政課		⑥評価者名	鬼北町総務財政課				
⑦公表方法及び時期	代表の鬼北町のホームページにおいて公表 平成28年 8月 22日付							
事業の概要	⑧事業年度	平成21年度 当初		⑨事業完了日	平成23年 3月31日			
	⑩総事業費	1,952,658千円		⑪補助対象事業費	1,909,356千円			
				⑫交付金額	636,452千円			
	⑬整備対象地域	複数の事業で鬼北町及び松野町の全域を整備。地区内訳は、⑮事業の内容のとおり。						
	⑭条件不利地域	過疎(鬼北町及び松野町の全域)						
	⑮事業の内容							
<p>本事業では両町にケーブルテレビを主体とする情報通信サービスを提供するためのヘッドエンド設備、線路設備、伝送設備の整備や、地上波放送等の再送信、自主放送をはじめとする放送サービス、インターネット、IP電話、告知放送などの通信サービスの提供を実施するための施設を2ヶ年かけて両町の全域に整備。また、平成14年度及び平成20年度地域イントラネット基盤整備事業で整備した光ファイバケーブル幹線を利用した整備を実施。</p> <p>整備対象地域  鬼北町  興野々、岩谷、上川、西野々、小西野々、小倉、下大野、上大野、広見、久保、延川、川上、父野川上、父野川中、父野川下、下鍵山、上鍵山、日向谷、東仲、西仲、吉波、沢松、内深田、成藤、畔屋、生田、清水、大宿  松野町  富岡、滑床、目黒、上家地、吉野、奥野川</p>								
BB	⑯サービス開始日	平成23年 4月 1日						
	⑰サービス形態	公設民営方式 (IRU)						
	⑱契約先	宇和島ケーブルテレビ株式会社						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531
	加入世帯数	651	938	752	795	852	886	934
加入率(%)	14.37	20.70	16.60	17.55	18.80	19.55	20.61	
CATV	㉑サービス開始日	平成23年 4月 1日						
	㉒サービス形態	公設民営方式 (IRU)						
	㉓契約先	宇和島ケーブルテレビ株式会社						
		㉔整備計画時の目標		㉕実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531	4,531
	加入世帯数	1,119	3,248	2,034	2,099	2,170	2,192	2,282
加入率(%)	24.70	71.68	44.89	46.33	47.89	48.38	50.36	

	BB	CATV
⑳提供サービス内容及び料金	高速インターネット ベストエフォート1Gbps 月額4,428円(税込) 高速インターネット+IP電話 ベストエフォート1Gbps 電話1回線 月額4,968円(税込)【通話料除く】	地上波+自主制作 月額1,080円(税込) 地上波+自主制作+BS 月額2,160円(税込) 地上波+自主制作+BS+CS 月額3,240円(税込)
㉑これまでの加入促進の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年5、8、12月に、サービス説明会を開催。また、回覧等で広報。</li> <li>・平成23年度において、住民向けのインターネット教室を6回開催した(受講者総数90人)。以降、平成27年度まで住民向けのインターネット教室を毎年度開催。</li> <li>・平成23年10月、商イベントでサービス説明会を開催。</li> <li>・平成23年度においては、申込者の新規加入料を無料にした。</li> <li>・平成24年度以降は、パンフレット作成、新聞折り込み等広報を随時実施。</li> </ul>	
㉒成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルデバイトの解消</li> <li>・地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域の解消</li> </ul>	
㉓効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部と比較してもまったく問題のないインターネット環境が構築され、様々な情報収集・情報活用が可能になった。</li> <li>・ケーブルテレビによる地域情報の作成・発信により、地域住民の交流やコミュニティ活動が盛んになった。</li> <li>・IP告知端末の設置により、防災情報の提供が正確かつ迅速になった。</li> </ul>	
㉔評価及び課題	<p>整備後は、継続的な加入促進活動に取り組み、数値目標では、BBサービスは目標をほぼ達成しているが、CATVは目標半ばといった状況である。エリアは、町内全域を網羅しており、各サービスはいつでも任意利用できる環境となっている。今後とも、各サービスに創意工夫を行い、利用促進につなげる必要がある。</p>	

	BB	CATV
㉕今後の取組及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信速度の更なる高速化の検討。</li> <li>・企業向け、家庭向けそれぞれのサービスメニューの充実を目指す。</li> <li>・セキュリティソフト提供など、サービスに付加価値を付けていく。</li> <li>・加入促進のキャンペーン等を継続的に実施する。(BB、CATVとも共通。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣CATVや自治体との連携の検討。</li> <li>・より多彩な地域情報の発掘・発信に努める。</li> <li>・地域住民にケーブルテレビの自主制作番組に積極的に参加してもらう。</li> <li>・加入促進のキャンペーン等を継続的に実施する。(BB、CATVとも共通。)</li> </ul>